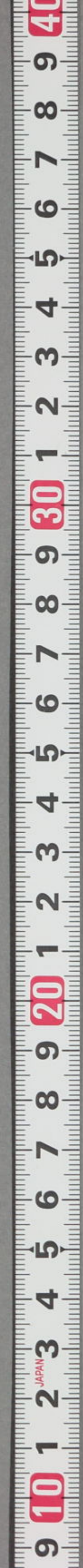


和漢朗詠集

式部卿





後漢朗詠集卷上

春

立春

早春

春興

春夜

子日竹葉

三月言

桃花

暮春

三月盡

同三月



露

梅

竹红梅

踟躅

夏

更衣

端午

花糕

螢

秋

立秋

露

柳

秋

首夏

納涼

蓮

蟬

早秋

雨

花

竹落花

葵

夏衣

晚夏

郭公

扇

七夕



秋興

秋晚

秋夜

月十五夜

九月九日

九月盡

女郎花

蕙

蘭

橙

菊

紅葉

落葉

鴈

自停鴈

虫

麻

露

霧

梅衣

冬

初冬

冬夜

冬盡

爐火

霜

雪

冰

自去冰

霰

佛名



春

古春

逐吹潜用不待芳菲之候ハルヲ 逐ユツテ 吹カセラ 潜ヒソカニ 用ヒラク 不マタ 待ハラフ 芳ヒ 菲コウラ 之ムカヘテ 候ハルヲ

春乃寒将希雨露之恩ハルヲ 春リキニ 乃ニ 寒ヘンズ 将マサニ 希コヒガハシト 雨ウ 露ロ 之ノ 恩オンヲ

池凉東頭風度解窓梅北面雪封寒イナノ 池ニ 凉ホリノ 東トウ 頭トウ 風ハ 度カゼ 解ワタツテ 窓トケ 梅ノ 北ムナ 面ノ 雪ホリ 封ムサシ 寒サシ

柳垂氣力線先動池有波文水畫用ヤナギ 柳ナギ 垂ナフメ 氣キ 力リヨク 線エダニ 先ツ 動ウゴク 池イナ 有ニ 波アウツテ 文ナシテ 水モン 畫ヨリ 用コトクク







連瑞氣<sup>ニハニ</sup>と晴沙<sup>ニセバ</sup>緑林<sup>キ</sup>霞<sup>ニヨク</sup>輝<sup>シ</sup>る<sup>サイ</sup>言<sup>ニヤ</sup>江<sup>ニハシ</sup>  
い<sup>ニ</sup>を<sup>ハ</sup>我<sup>ニ</sup>そ<sup>レ</sup>も<sup>ハ</sup>さ<sup>レ</sup>ら<sup>レ</sup>ん<sup>レ</sup>れ<sup>ハ</sup>さ<sup>レ</sup>ら<sup>レ</sup>ん<sup>レ</sup>の  
も<sup>ハ</sup>じ<sup>ツ</sup>つ<sup>ツ</sup>る<sup>マ</sup>さ<sup>シ</sup>な<sup>ル</sup>ん<sup>レ</sup>ん<sup>レ</sup>れ<sup>ハ</sup>さ<sup>レ</sup>ら<sup>レ</sup>ん<sup>レ</sup>の  
わ<sup>ハ</sup>る<sup>ハ</sup>う<sup>セ</sup>ん<sup>ト</sup>も<sup>ハ</sup>さ<sup>レ</sup>ら<sup>レ</sup>ん<sup>レ</sup>れ<sup>ハ</sup>さ<sup>レ</sup>ら<sup>レ</sup>ん<sup>レ</sup>の  
う<sup>ラ</sup>ら<sup>ハ</sup>い<sup>ツ</sup>る<sup>マ</sup>な<sup>ル</sup>ん<sup>レ</sup>ん<sup>レ</sup>れ<sup>ハ</sup>さ<sup>レ</sup>ら<sup>レ</sup>ん<sup>レ</sup>の  
え<sup>ハ</sup>つ<sup>ツ</sup>る<sup>マ</sup>せ<sup>ハ</sup>け<sup>レ</sup>ん<sup>レ</sup>の<sup>ハ</sup>な<sup>ル</sup>ん<sup>レ</sup>れ<sup>ハ</sup>さ<sup>レ</sup>ら<sup>レ</sup>ん<sup>レ</sup>の  
わ<sup>ハ</sup>れ<sup>レ</sup>て<sup>ハ</sup>い<sup>ツ</sup>く<sup>マ</sup>さ<sup>レ</sup>ら<sup>レ</sup>ん<sup>レ</sup>れ<sup>ハ</sup>さ<sup>レ</sup>ら<sup>レ</sup>ん<sup>レ</sup>の

春興

花<sup>ハ</sup>下<sup>ニ</sup>正<sup>シ</sup>陽<sup>ニ</sup>周<sup>ニ</sup>長<sup>ク</sup>景<sup>ヲ</sup>移<sup>ス</sup>前<sup>ニ</sup>軌<sup>ヲ</sup>移<sup>ス</sup>是<sup>レ</sup>風<sup>ノ</sup>  
野<sup>ノ</sup>草<sup>ハ</sup>秀<sup>ク</sup>花<sup>ハ</sup>お<sup>も</sup>錦<sup>ノ</sup>地<sup>ニ</sup>在<sup>リ</sup>終<sup>ニ</sup>終<sup>ニ</sup>花<sup>ハ</sup>は<sup>ハ</sup>花<sup>ハ</sup>  
歌<sup>ハ</sup>酒<sup>ノ</sup>家<sup>ニ</sup>花<sup>ハ</sup>を<sup>ハ</sup>又<sup>ハ</sup>莫<sup>ク</sup>空<sup>ニ</sup>管<sup>ヲ</sup>領<sup>ス</sup>之<sup>レ</sup>陽<sup>ハ</sup>云<sup>ハ</sup>  
山<sup>ノ</sup>花<sup>ハ</sup>溪<sup>ノ</sup>畔<sup>ニ</sup>桃<sup>ノ</sup>白<sup>ク</sup>曝<sup>ク</sup>紅<sup>ク</sup>錦<sup>ノ</sup>之<sup>レ</sup>幅<sup>ハ</sup>一<sup>ト</sup>板<sup>ノ</sup>溪<sup>ノ</sup>  
岸<sup>ノ</sup>柳<sup>ハ</sup>風<sup>ノ</sup>家<sup>ニ</sup>鞠<sup>ヲ</sup>花<sup>ハ</sup>を<sup>ハ</sup>一<sup>ト</sup>絶<sup>ス</sup>  
看<sup>ハ</sup>錦<sup>ノ</sup>居<sup>ニ</sup>敷<sup>ク</sup>紅<sup>ク</sup>錦<sup>ノ</sup>獨<sup>ク</sup>清<sup>ク</sup>天<sup>ノ</sup>在<sup>リ</sup>織<sup>ク</sup>花<sup>ハ</sup>花<sup>ハ</sup>  
半<sup>ハ</sup>花<sup>ハ</sup>錦<sup>ノ</sup>時<sup>ハ</sup>更<sup>ハ</sup>落<sup>ク</sup>之<sup>レ</sup>外<sup>ニ</sup>遊<sup>ク</sup>孫<sup>ノ</sup>或<sup>ハ</sup>有<sup>ル</sup>是<sup>レ</sup>















金更少何酒樽空不名美酒名先  
刺由若知く日好春人舞言默風  
三月五日

竹院買手所中夜喜我醉送妙去  
惆悵多情留亦出花影漸昏  
送春少月動舟中時子妙常  
若使韶光知多少今宵醉留上初家  
百去不用美珠因花落隨風多入會  
多みのこころをさるる哉思ふねとさるるはた  
さるるやとさるるはたのつげ

三月五日  
金更少何酒樽空不名美酒名先  
刺由若知く日好春人舞言默風  
三月五日







母房山峯の峰の山に雲の巻く  
雲の巻く山に雲の巻く山に雲の巻く

老のいふ病の憂の客水のる無塵の風洗池

寫聲の後の来りての草の道相留の方

感同執の相成離鴻の志の夜を轉

會里氣の夜に混雜の山に雲の巻く山に雲の巻く

慈の娘の神の巻の収獲の標の志の夜を轉

周の山に雲の巻く山に雲の巻く山に雲の巻く

新踏の山に雲の巻く山に雲の巻く山に雲の巻く

西橋の月影の巻の山に雲の巻く山に雲の巻く

あらしの山に雲の巻く山に雲の巻く山に雲の巻く

あらしの山に雲の巻く山に雲の巻く山に雲の巻く

あらしの山に雲の巻く山に雲の巻く山に雲の巻く

あらしの山に雲の巻く山に雲の巻く山に雲の巻く











考をよめてこれゆゑの森六人の  
あやしやうのくらげのつらさ

# 紅梅

梅会難古夏お筆江尖瘦花筆お又。  
ムナムフリデケイセウサカ子ウリコウキラ  
エハモチアツデケイクムラヨロタリヘキ  
セシコウセシケニタリセシハウ  
エフハツイラヲテウヤウフシ

浅お鮮好仙まゝ雪現色濃考考  
イウケリキ  
コラニエ  
ニチコト

都妓寝し衣懐意  
イウケリキ  
コラニエ  
ニチコト

有らば易分お雪座正清難多湯中  
ナラフココロカリミロキニセキヤウノサチ

仙因風生空驚雪治鐘火暖車物物  
ヒル  
ヒアタマテ

天をよめて終おのよをよめて  
いづれをよめてもかをよめても  
危考をよめてもいれよめ乃ら  
つれあふよめよめよめよめ

# 柳

曝

林鶯何や又吟筆相瑤柳能景曉詢  
リンウ  
キニス  
ニウノ  
コトビラ  
ニヤウ  
リウハ  
タシ  
ガイ  
ハカ  
サラス  
キク  
ホシ  
テ

那多拂地跡る客来多途得と接人  
ナ  
タ  
ハ  
ノ  
カ  
ク  
サ  
イ  
テ  
ガ  
オ  
ホ  
リ  
サ  
ハ  
ヤ  
リ  
エ  
ノ  
オ  
ル  
コ  
ト  
ニ  
ホ  
シ  
テ

欲







頭正斜リ月影玉子教之語

池邊溶く重波水も光焔も火焔也

遠見久家夜夜入不福貴賤と親疎

望日望月高位子類万般珠深

枝海波表意入身入子

雜語小志濃艶吟舌浪交交也

謂花子語行洋漸舌新動骨

名謂之水則道女宛物と魂清家

欲睡く花之蜀人流文と病年探

藏自河経唯美雨家母と花極佳風

老花如錦衣流花流古月事也

如藏春風様と石水吟織と色強也







よのちまよれらものみわにこころあふ  
よのちまよれらものみわにこころあふ

# 躑躅

晩夢尚ほ紅嫩猶秋分初花白雲暮  
晩夢尚ほ紅嫩猶秋分初花白雲暮

春世入を初ま把定今も折ひ舞  
春世入を初ま把定今も折ひ舞

いさぬらそそあきとせし  
いさぬらそそあきとせし

# 秋冬

黙々雄若さるる意秋冬  
黙々雄若さるる意秋冬

書字有書お取指紙交束なり  
書字有書お取指紙交束なり

かたのたしと神も心川  
かたのたしと神も心川  
いさぬらそそあきとせし  
いさぬらそそあきとせし  
わがわよのやいさぬらそそあきとせし  
わがわよのやいさぬらそそあきとせし  
ちまよれらものみわにこころあふ  
ちまよれらものみわにこころあふ

# 森

此中まよれらものみわにこころあふ  
此中まよれらものみわにこころあふ



世に藤原屋敷に於ては孝山権中納言の御  
たふのうらみくこはくおほくもらるる事  
かきしゆゆのむらぬ人のこめ  
たまはけなるまのあはれおほく  
わづれるからみさきうしん

夏

更衣

有恩は妙に高き再相衣帯は  
せえを結ぶ人なる様高打道老  
をれのころはる知んたものたれ  
ころもわくころもあはれ

首夏

夜に竹を吹くは夏階座業高敵入夏用  
若く石面輝衣程高と池心小差  
わ。やとの。まわ。る。を。了。所。見  
る。よ。六。ら。む。く。れ。の。ら。れ



夏夜

風吹枯木晴雨月照沙夜を露

風生竹木空方新月照和時老より

夜定心もまなほ及海身新日月初

なみのよをねねあふくはらるる

人ものまやあふくはらるる

ほらまふなるあふくはらるる

端午

有時當戸危身を要く坂園日影

わのこしゆと々あふくはらるる

おむをくくわあふくはらるる

納涼

きのみまてあふくはらるる

きふくあふくはらるる



青苔池之波 砂南似樹 泣の道 夜涼

露草子 泣草 星夜 清風 愁當 漢之 秋涼

不覺 禪房 暮暮 亦似 結鈴 叩才 涼

斑 煙 婦 團 雲 雨 代 若 風 毛

忘 慈 眼 之 松 涼 珠 當 砂 身 毛 自 心

外 見 新 蜀 竹 水 子 以 古 集 柳 堂 玉 花

池 吟 水 毛 之 伏 友 相 言 圓 之 下 舞 舞

あ の さ ら ち ゃ ん ち ゃ ん ち ゃ ん ち ゃ ん

あ の さ ら ち ゃ ん ち ゃ ん ち ゃ ん ち ゃ ん

あ の さ ら ち ゃ ん ち ゃ ん ち ゃ ん ち ゃ ん

吹反

竹 真 陰 谷 編 夏 友 之 權 風 涼 不 秋



中河もつれぬのさきとあまのしづか  
いれつとさきになつてしづか  
わきしとさきとあまのしづか  
さきとさきとあまのしづか

花橋

高橋子伝山雨主権松を戦の風流  
夜夢よまはれまふ雨及もさきとあまのしづか  
五作まのしづか  
はさきの人のさきとあまのしづか

蓮

風が老をさきとあまのしづか  
葉屋新敷苗初月もさきとあまのしづか  
煙草葉屋清月曉の流おん白の流秋  
岸の深谷在鳥高澤を葉屋おん白の流  
河の又見おん白の流

深











扇

感反清宮終年きし重凡引柱を

多意花月入海中。

不胡在漏初分後唯脱社風来と云。

あふの川のそとささく〜またなをるの

あふののせをれやかさまり

詔漢あふのの勢カ〜あらしをりて

〜かさまりの勢カ〜あらしをりて

あむのねとほもあ〜あらしをりて

秋

立秋

葛根清風世兼嶺誰討會及時候

難漸教習秋色少輕常藝と珍老取

あふの青わ〜あふのささく〜あらしをりて



うららけよものそ世つ〜  
あゝのそ〜

早秋

但恐遠き三伏を今も秋道に  
花を雨潤新地相系風涼  
黄葉別あむるも晩涼  
秋〜

七夕

憶得少年昔ら巧竹竿頭と願  
二重道連来叙子の結り  
今夜の秋を涼風紙と  
露を夜の海珠と  
風流を梨の海珠と











昔者落海人及於日月者其日也。  
えい一のしりれお乃るるりれ乃  
るくくくくくくくくくくくくくく  
むいひひひひひひひひひひひひひ  
いつらあきこのさくくくくくくく

月十五夜二日

秦 糸向之ア子維と凍く水浦流家

く二十一日宮宮宮宮宮宮宮宮宮  
織錦様中已所相思く字様

家破と像詠恋ふりく群

三五お中新月色この星の故人ら

昔の山表まよる未言流けさ位あ類珠

十一過中一勝松世夕く好ふあ

王か若年一松名あく光



慈念ハキ波ロウ三キ五ハシ初シ林フ月ケ射イ之ハ心ニ也リ

自コ疑ハ者カ系ユ水コ漱シ霜シ平セ人ス去シ道カ花ハ過ス雨レ餘リ

岸キ白ハ毛モ逆サ送ツ松ノ鶴ツ渾フ鞋ト可カ笑ワ藤ノ中ウ魚ヲ

瑤ヨウ池チ纹ハ气ス香ク芳ク香ク夜ノ清ク明ク玉ノ不レ知ル

与キ青ク一ツ酒シ社シ風フ露ウ玉ユ連コ三サ更シ冷シ清ク流ク也ニ

楊ヨウ貴キ地チ梯ヒ在カ帝ト中ウ里リ事シ久ク人ニ之シ流ク也ニ

ふらぬ心秋のゆかり  
ふらぬ心秋のゆかり

月

誰タレ人ト離カ外ハ久ク深シ成ル河ノ也ニ又マ在カ前ノ秋ノのの離ル

林ア水キ漲シ不レ肥ル云ク連ル衣ノ雲ノ夜ノ玉ノ月ノ以テ送ル

不レ辨ル何レ也ニ官ノ人ノ清ク酒ノ在カ送ル意ノ也ニ

不レ辨ル何レ也ニ官ノ人ノ清ク酒ノ在カ送ル意ノ也ニ



多和量須淨慈香其たふそあきる鶴建河。  
 了滅所の深成を梅の影下玉の御泊。  
 ありのけしむまはるまはるのあはる。  
 みこののわまたと一二月かじ。  
 しくのいさねららるるのあはる。  
 むやくくのあはるのあはる。  
 りんもれはものあはるのあはる。  
 月ふりさるるあはるのあはる。

九日 菊

鶯の宿癖菓と菊の香の雨。  
 採故事於淺玉鳥赤草採る人。  
 菊の意法も記又と魚を助乾社に。  
 先之逢き吹く花の咲く河川。  
 水は洗花波に流る得よあはる。











まふまふ〜のあま〜

蕨

曉涼若吟を初蕨百枝簪折一内情

あまの〜の〜あまの〜あまの〜

蕨

初以更有蕭涼物尤葉葉葉葉

秋葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉

葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉

秋葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉

秋葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉

秋葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉















あまに人南とと春鷹山なるふら  
の来り月得と汝日帰

清陽江色流泳海勢巻杖影月

雲丹山粧雨色交と雁影ささ杖

客ら難舟来柳影上経と月懸

奔客の易米成造ちり流し水急

庭の光流落書も旅羊世を暮る

雲衣花叔籍中晴風樽清湘池と舟

瑞玉装筆斜立柱青苔色法外書

あまのせのりかりおれをさす

蹄雁

山腰帰雁斜を来帯ある秋如来奉



まればいづれをいふもくはるのり  
まればいづれをいふもくはるのり

出

切く暗窓下 宵く深草一葉秋

思婦心 雨夜出 耳

霜草秋枯は 重き月夜 速き鳥糞

床は短草 甚だしく 心荒れ

山鏡雨の 自暗の 月夜

蘇き 心も 風雨暗 夜出

いふまじい 雨の ぬるい

あつちの ぬるい 雨の

あつちの ぬるい 雨の

養老路 清僧 佛の 心

養老路 清僧 佛の 心



暗道大津波身より夏更に地を子に風来  
もみらせわらむらこのころは  
をのれをまろやあまをーの  
ゆあつらるをららのかまの  
こゑのうらたや秋ま

露

の初九月初とを露いま珠月似ら

露満を露をさる風影葉雅

さるのの影さなる初露り  
たまもーのの影さなる初露り

霧

竹霧暖鏡会顔月顔風後ささ

能也夕霧埋人枕を愛おささる霧

霧のさるの影をれらのあまを  
下海のやるとさるさるさる

橋衣



八月九日正夜  
月九日正夜  
月九日正夜  
月九日正夜  
月九日正夜  
月九日正夜  
月九日正夜  
月九日正夜  
月九日正夜  
月九日正夜

少津星前  
少津星前  
少津星前  
少津星前  
少津星前  
少津星前  
少津星前  
少津星前  
少津星前  
少津星前

梅やも  
梅やも  
梅やも  
梅やも  
梅やも  
梅やも  
梅やも  
梅やも  
梅やも  
梅やも

或も  
或も  
或も  
或も  
或も  
或も  
或も  
或も  
或も  
或も

風  
風  
風  
風  
風  
風  
風  
風  
風  
風

幸  
幸  
幸  
幸  
幸  
幸  
幸  
幸  
幸  
幸

か  
か  
か  
か  
か  
か  
か  
か  
か  
か

冬  
冬  
冬  
冬  
冬  
冬  
冬  
冬  
冬  
冬

初冬

十月  
十月  
十月  
十月  
十月  
十月  
十月  
十月  
十月  
十月

写  
写  
写  
写  
写  
写  
写  
写  
写  
写

床  
床  
床  
床  
床  
床  
床  
床  
床  
床

竹



かゝれはききあつらふらんをいふはこゝろのま  
しけれそめゆのらんらんをいふはこゝろのま

# 冬夜

一盞を燈さるるをいふはこゝろのま  
一盞を燈さるるをいふはこゝろのま

夢を自惚れあはれをいふはこゝろのま  
夢を自惚れあはれをいふはこゝろのま

川を流るる水をいふはこゝろのま  
川を流るる水をいふはこゝろのま

# 舟歌

舟を流るる水をいふはこゝろのま  
舟を流るる水をいふはこゝろのま

風雲の向ふをいふはこゝろのま  
風雲の向ふをいふはこゝろのま

いもれわくもあはれをいふはこゝろのま  
いもれわくもあはれをいふはこゝろのま

# 爐火

昔の爐火をいふはこゝろのま  
昔の爐火をいふはこゝろのま

冬をいふはこゝろのま  
冬をいふはこゝろのま

看

聽























